ご安全に

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連シニアクラブ事務局　2023/7/24　第 68 号

基幹労連 H/P：http://www.kikan-roren.or.jp　TEL：03-3555-0401

本号では、地方ブロック懇談会の概要を紹介いたします。久々にフェイスｔｏフェイスで開催され、貴重な意見を多く頂きました。一部しか掲載できませんが、ご意見は今後の活動に生かしていきます。

合わせて、きょんきょん便り№３を掲載しています。

全国８カ所において地方ブロック懇談会を開催！

４月から６月にかけて地方ブロック懇談会を開催しました。各県本部退職者の会の代表に参集いただき、活動状況の交流、シニアクラブへの組織名称変更への受け止め、組織強化・拡大への対応状況、村田参議院議員支援を含めた今後の活動等について意見交流を行いました。

ブロック	日程	開催場所	本部派遣者(産別)	出席者
北海道・東北	６月 ３日(土)	札幌 ホテルアベスト	兼子（綱島）	19 名
関東	５月 29 日(月)	基幹労連本部	和田口、操谷（篠原）	16 名
北信越	５月 18 日(木)	メトロポリタン長野	操谷（津村）	10 名
東海	４月 17 日(月)	愛知 アビタン	澤田（篠原）	10 名
近畿	５月 12 日(金)	大阪キャッスルホテル	兼子（綱島）	13 名
中国	４月 17 日(月)	ワークピア広島	操谷（綱島）	９名
四国	５月 29 日(月)	香川 ﾎﾃﾙｱﾈｯｽ瀬戸大橋	兼子、越野（綱島）	12 名
九州	５月 12 日(金)	佐賀 武雄市文化会館	和田口（生坂）	14 名

【県本部退職者の会の組織構成現状】

各県本部退職者の会の報告から集約した組織構成状況の概要は以下の通り

〇県本部役員 OB を主体に構成（１１組織）

北海道（含む単組役員 OB・組織内議員）　岩手　宮城　栃木　埼玉　千葉　長野　岡山　福岡（県本 OB＋単組三役 OB）　静岡（２組織）　滋賀

〇構成組織役員 OB で構成（７組織）

青森（３組織）　茨城（日鉄Ｇ役員 OB で構成、含む組織内議員）　三重（５組織）　京都　大阪　和歌山（日鉄Ｇ役員 OB で構成）　山口

〇構成組織 OB 会で構成（１９組織）

秋田（２組織）　山形（１組織）　福島（１組織）　群馬（１組織）　東京（県本 OB＋４組織）　神奈川（１０組織）　新潟（２組織）　富山（１組織）　岐阜（２組織）

愛知（４組織）　兵庫　広島（６組織）　香川（１組織）　愛媛（４組織）　佐賀（１組織）　長崎（３組織）　熊本（１組織）　大分（１組織）　鹿児島（２組織）

※下線組織は県退職者連合に加盟

※（　）内は単組ＯＢ会として加盟している数。記載なしはＯＢ組織としての加盟がなく役員ＯＢの個人加盟で構成されている県

【地方ブロック懇談会における意見交流の概要】

〇活動状況について

・コロナ禍、総じて活動は停滞していたが、５類への変更を受け、従前に戻す過程にある。

〇組織拡大について

・県本部退職者の会の形態は、県本部役員 OB を主体に構成しているケース、単組の OB 会をそのまま県本部退職者の会に充てているケース、いくつかの単組 OB 会の連絡会を県本部退職者の会としているケースに概ね分類できるが、定年延長や再雇用制度により退職者が大きく減じている実態の中、新たに会員を迎え入れることが難しくなっており、退任される県本部役員も年齢にもよるが職場復帰後の加入要請が容易ではなく、会員が減少する実態がある。

［本部コメント］そうした実態を踏まえて、組合役員退任時に会員招請のアクションが採れるよう組織名称の「シニアクラブ」への変更を提起しており、我々の活動の核となってもらえる組合活動経験者の参画を促し易い状況をつくっていく「きっかけ」になればと考えています。

〇シニアクラブへの改称について

・和歌山県においては既にシニアクラブへの改称を総会で確認したとの報告いただいており、改称の狙いや趣旨について賛同する意見が多く出され、会員対象年齢拡大に向けた入会基準の検討等必要な検討を行なった上でそれぞれの総会において改称していく旨のご意見をいただいた。

・改称すれば会員が増えるという単純な状況ではない。県本部構成組合の組合役員 OB に会員に加わってもらうことや、組合 OB 会未組織への対応等は現役との認識共有・協働がなければ難しい。

［本部コメント］組織力の強化・充実には、より多くの県本部構成組合役員 OB に賛同を得ることが必要と考えています。産別本部とも意思疎通を深め前進するように取り組んでいきますので、各県においても現役の県本部役員や構成組織執行部との意見疎通をはかっていいただくようお願いします。

〇村田きょうこ議員支援の今後に向けて

・昨年実施した WEB を活用した「決起集会」は好評であった。今後についても顔が見える機会を多く持って欲しい。総会に顔を出してもらえれば身近に感じる。

・産別の HP からファンクラブ会報に入れない。もう少し工夫が必要ではないか。

［本部コメント］次の選挙は現役議員としての対応となることから、議員自体の時間的制約は一層高まることになります。ご意見にある SNS の活用は大きな課題だと受け止めていますが、基幹シニア自体にその能力が不足していますので、産別と相談しながら対応していきます。

きょんきょん便り　№3

通常国会奮闘記！

基幹シニアの皆様、ご安全に！

いつも力強いご支援をありがとうございます。

１月２３日から始まった通常国会が６月２１日に閉会しました。議員として初めての通常国会１５０日間は、あっという間で、濃密な時間でした。

３月の予算委員会では、予算委員として審議に加わり、本会議では、2023 年度予算案に対し、反対の立場で討論を行いました。私にとって初登壇となりました。また、経済産業委員会や消費者問題に関する特別委員会においても質疑に立ち、時には週３回質問をしたことも！皆様の声を伝え、政策として実現するには、どのように質疑を組み立てればよいのか？試行錯誤したことも多かったですが、質疑を重ねることで、だんだんと自分なりの質疑の仕方が分かってきたように思います。

経済産業委員会で質問する際には、毎回冒頭に「ご安全に！」の挨拶から始めました。最初は怪訝な顔をしていた他の議員も、国会最終盤では「ご安全に！」と挨拶を返してくれるようになり、**国会で少しずつ「ご安全に！」の挨拶が広がってきています**。ものづくりの課題とともに、ものづくりの良さも国会で共有していきたいと思います。また、私が昨年１１月の国会初質問から取り上げてきた電力料金高騰対策について、今年３月、国は工場等の**電力多消費企業に対し、地方交付金という形で支援**をすることを発表しました。現場の声を伝え、現実的な提案を行えば、野党の１年生議員であっても政策は実現できるのだ！と実感しました。

国会閉会中は、全国の仲間に会いにオルグをします。その中で頂いた声を次の国会質疑に生かしていきます。暑い日が続きますが、元気に活動してまいります。皆様もどうぞご自愛ください。楽しい夏を！ご安全に！

参議院議員　村田きょうこ